

キャリア形成促進プログラムの基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地			
東京医業専門学校	昭和58年12月23日	須田 英明	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-3688-6161			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	浮舟 邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311			
正規課程/履修証明プログラム	分野	プログラムの名称		開設年月日	生徒定員	修業年限・修業期間
正規課程	医療	医療専門課程 医療事務科		平成21年4月1日	60人	1年
開講時期	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		直近の修了者数※2	修了者のうち就職者数※2	修了者のうち就業者数※2	
			47人	44人	0人	
プログラムの目的	授業は午前を中心とし、午後は病院実習に取り組み、実践を通して医療事務としての知識と技術を学ぶことで、1年間で医療事務の即戦力人材になることを目的とする。病院実習は収入を得ながら学ぶことができ、学費負担を大幅に軽減することができるため、キャリアチェンジの希望者にも取り組みやすいプログラムとなっている。					
認定年月日※3	平成31年1月17日					
対象とする職業の種類	医療機関における医療事務員のほか、総務職員、医療秘書、病棟クラーク職、看護助手を目指す	身に付けることのできる能力	<b>■身に付けられる知識、技術及び技能</b> 医療事務に必要な診療報酬請求事務、医事コンピュータの知識、技能を学び、医療事務に必要な知識 実習における医療事務の職務と役割、患者様、スタッフへのサービスマインド 医療事務に必要な基本的な医療知識(人体構造・機能、疾病、医療用語) <b>■得られる能力</b> 医療秘書技能、医事コンピュータ技能 診療報酬請求事務能力、電子カルテ実務能力 基本的な人体構造・機能、疾病、医療用語 サービスマインド			
カリキュラム内容	プロ養成講座、コンピュータ、ビジネス文書、病院マナー授業において、医療現場に必要な社会人基礎力、コンピュータの基礎知識、技術を修得する。医療法規、医療秘書実務、診療報酬請求実務演習授業において、医療人材に必要な基本的な知識、技術を修得する。人体構造・機能論、疾病学、医療概論・医療用語授業において、医療現場に必要な基本的な知識を習得する。病院実習において、医療現場での基本から応用までの実践経験を積むことにより、医療事務として即戦力となる人材育成を行う。実習では、知識・技術の定着・向上だけでなく、患者様、スタッフへのサービスマインドを高める。					
総授業時数又は単位数※4	870時間	要件該当授業時数又は単位数※4	720時間	企業等連携授業時数又は単位数※4	120時間	要件該当授業時数/総授業時数※4 83%
社会人が受講しやすい工夫	<b>■社会人が受講しやすい工夫の内容</b> 病院実習は午後から実施し、曜日の設定は学生1人ひとりの状況に合わせて柔軟に設定できるよう、実習先企業と連携を図っている。 病院実習は収入を得ることもでき、学費の約70%をまかなうことができるため、学費負担を軽減するだけでなく、実習を通して就職に繋がる機会も大きい。 キャリアチェンジを検討している社会人にとって、学びやすい環境を整えている。 医療福祉系有資格者特別受験制度において、本校を単願で受験する上で、指定の国家資格を持ち、実務経験1年以上である方は選考料を免除する。 就職支援は、学園グループのネットワークを活用し、希望地域に沿った就職支援を行っている。 <b>■修了時に付与される資格等:</b> 無 ※有の場合、資格等の詳細を記入					
成績評価の基準・方法	【成績評価の基準】学年末、各学期末に行う定期試験、平常の学習状況(小テスト、中間試験、臨時試験等含む)、出席状況の3要素で総合的に判断し評価する。評価はA～Fの6段階評価とし、D以上を合格とする。教育効果、科目特性を考慮し、S(合格)、U(不合格)の可否のみで評価を行う場合がある。【成績評価方法】医療事務に必要な知識・技術(診療報酬請求事務、医事コンピュータの知識・技能、基本的な医療知識)を筆記試験などにおいて評価する。実習評価は、実習先での勤務状況と評価表を数値化し、評価とする。		プログラム修了要件	当該学年に取得すべき科目を全て履修(840時間)し、評価認定されたものが卒業(修了)できる。		
当該プログラムホームページURL	<a href="https://www.tcm.ac.jp/school/info/">https://www.tcm.ac.jp/school/info/</a>					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定プログラムにおいては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください。

2. 「直近の修了者数」、「修了者のうち就職者数」、「修了者のうち就業者数」(※2)

「直近の修了者数」、「修了者のうち就職者数」、「修了者のうち就業者数」の欄には、正規課程については公表年月日年度の前年度の実績人数を、履修証明プログラムについては公表年月日の時点において最後に修了者を出した直近の開講時期における実績人数を記入してください。各実績人数は、学校が把握している範囲での数字を記入してください。

「修了者のうち就職者数」の欄には、推薦プログラム修了後に推薦プログラムの対象とする職業に就職した受講者数を記入してください。

「修了者のうち継続在職者数」の欄には、推薦プログラム受講時に在職していた企業等に推薦プログラム修了時点において引き続き在職した受講者数を記入してください。

3. 認定年月日(※3)

キャリア形成促進プログラムとしての認定年月日を記入してください。初回認定の場合は空欄としてください。

4. 授業時数又は単位数の表記(※4)

推薦プログラムが正規課程で時間制の場合は単位時間数、正規課程で単位制の場合は単位数、履修証明プログラムの場合は時間数を記入してください。

1. 「対象とする職業に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針  
教育課程の編成において、必要となる最新の知識、技術を反映するため、企業・業界団体等の意見を活かし、教育課程の改善並びに改訂を定期的実施することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

理事会のもとに位置付けて運営を行っている。学校で編成している教育課程を委員会に提示。委員会であげられた意見を参考にしつつ、実践的な専門知識や技術を身に付けられるよう教育課程を編成し、理事会の承諾のもと教育課程を決定する。決定された教育課程については、委員会に告知するとともに継続的に検証を行っている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
古島 昭博	学校法人滋慶学園 常務理事	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
須田 英明	東京医薬専門学校 学校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
一宮 頼子	東京医薬専門学校 副学校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
小川 昭久	学校法人滋慶学園 本部長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
居関 昌暁	東京医薬専門学校 事務局長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
西田 茂男	東京医薬専門学校 教務部長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
仁村 将大	東京医薬専門学校 教務部長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
大島 綾香	東京医薬専門学校 IT医療事務総合学科・医療秘書科・医療事務科学科長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
持田 和夫	東京医薬専門学校 くすり総合学科	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
大野 光宣	東京医薬専門学校 化粧品総合学科	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
坂本 実恵子	東京医薬専門学校 言語聴覚士科 学科長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
鈴木 ほまれ	東京医薬専門学校 視能訓練士科 学科長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
鈴木 崇洋	東京医薬専門学校 臨床工学技士科 学科長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
阿部 健	東京医薬専門学校 救急救命士科 学科長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
渡邊 香里	東京医薬専門学校 歯科衛生士科 学科長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
石本 良之	医療秘書教育全国協議会 事務局長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	②
星 輝美	日本赤十字社さいたま赤十字病院 医療安全管理課 課長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
田村 和夫	医療法人社団 慶生会 (キャリア形成促進プログラム)	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	①
篠原 陽子	日本チェーンドラッグストア協会 ヘルス・アント・ビューティーケア 人材育成センター事務局長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
山崎 聡	東京大学医科学研究所 幹細胞治療部門 特任准教授	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
沖山 貴仁	(株)ココカラファインヘルスケア 九州バイザー責任者	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
池田 昭	ノーベルファーマ株式会社	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
高野 勝弘	日本化粧品工業連合会	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	①
田平 一之	スノーデン株式会社	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
長岡 雄一	東京視覚障害者生活支援センター 所長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	②
丸林 彩子	埼玉医科大学総合医療センター 主任 視能訓練士	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	①
三浦 國男	千葉県臨床工学技士会 副会長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	①
近藤 敏哉	社会福祉法太陽会 安房地域医療センター 医療技術部 ME室室長代理	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
澁谷 和俊	東邦大学医学部 副学部長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	①
治田 寛之	千葉県言語聴覚士会 理事	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
高添 真吾	医療法人社団武蔵野会 TMG宗岡中央病院リハビリテーション科主任	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	①
樋口 直樹	広島都市学園大学 講師	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
福江 善昭	江戸川区歯科医師会 副会長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	①
大嶋 宏美	宇田川歯科医院 テーフ 歯科衛生士	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
古谷 悠乃	山脇歯科医院 主任 歯科衛生士	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

医療事務科教育課程編成委員会

(昨年度)

第1回 令和元年 5月18日 15:00～16:30  
第2回 令和元年10月26日 15:00～16:30  
2回開催

(今年度)

第1回 令和2年 7月25日 15:00～16:30  
第2回 令和2年10月24日 15:00～16:30  
2回開催(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

電子カルテがクリニックにも普及してきていることから、現場における電子カルテの取り扱いができる人材の重要性を認識した。上記のことから、電子カルテの授業は選択科目にしていたが、2020年度より必修科目へと変更している。

2.「対象とする職業に関する企業等と連携して行う授業等その他の実践的な方法による授業等が、別の定めるところにより、総授業時数の一定割合以上を占めていること。」関係

(1)企業等と連携して行う授業における連携の基本方針

現場病院実習の科目を設け、学生が学内で学習した内容を現場で実践することで、現状の課題や気付きを得て、より高い目標を設定する機会が持てるよう、現場実習を位置づけている。医療人、社会人としての行動や対応を意識し、社会人として基本的な能力、態度を自覚、意識する機会を得ることも現場実習の目的としている。

(2)企業等と連携して行う授業における連携内容

※授業内容は方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

就職後の医事課業務を想定し、実践的に実習を体験できる病院にて実習を実施している。実習先は卒業生が多く就職している病院を中心に選定を行っている。実習先病院の指導者指示の下、業務の状況に沿って病棟クラーク業務、診療情報管理士室、医療秘書業務の実習を行っている。実習評価は、①実習指導担当者の評価 ②出席状況 ③実習記録および実習レポートなどを総合して評価する。①実習指導者担当者の評価は、指導担当者または実習責任者に中間および最終評価(計2回)を実施していただいている。③実習記録については、実習指導者に提出し、コメントをいただいている。評価は、実習要綱5ページの基礎的能力、生活態度、実習態度、実習出席状況の基準に沿って評価いただく。A、B、C、Dで評価し、CおよびD評価の項目がある場合は、実習指導担当者と担任、学生の3者面談を実施する。

(3)実践的な方法による授業のうち、企業等と連携して行う授業の具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
病院実習	病院での実習を通じて、医療事務の職務と役割を現場で再認識し、実践力を習得する。	医療法人社団千秋双葉会 桐和会グループ 医療法人社団桐和会 行徳総合病院 柴山泌尿器科・内科クリニック 新八柱整形外科・内科 他34件

3.「企業等と連携して、教員に対し、対象とする職業に係る実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦プログラムの教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規定に定められていることを明記。

学園の研修規程に基づき、教員の指導力の向上、授業力向上、クラス運営力の向上などを目的として研修計画の作成を行う。研修計画については外部機関も活用し、必要な知識や技術を向上できるように体系的に作成を行う。研修実施に際しては、教員個々の現場経験や教育経験、また学園在職期間等を考慮し、それぞれの対象に応じた到達目標を設定し、研修方法や評価指標を的確に定めて実施する。

(2)研修等の実績

①推薦プログラムが対象とする職業に係る実務に関する研修等

・医事コンピュータ教員研修会(医療秘書教育全国協議会) 参加者:塩原 俊之(令和元年5月)/岡嶋由紀(令和元年10月)  
医事コンピュータ検定試験合格に向けて、授業スキルの向上を図る

・「日本医療秘書学会 第17回学術大会」(主催:一般財団法人 日本医療秘書学会)

令和2年2月16日 対象:本科教員

高齢社会が進む中で変化していく、医療秘書の役割を考えを未来を創設する。

②指導力の修得・向上のための研修等

・「評価研修」 主催:東京医薬専門学校

令和元年12月14日 参加者:本科教員・非常勤講師 ※「講師契約説明会」内にて実施

授業の教育効果を適正に評価する方法を検討し、学生が到達目標を達成できる授業が実施できるよう授業力の向上を図る。

・「医療秘書分科会」

令和元年5月17日 参加者:大島 綾香

医療秘書の養成学科の教職員との情報交換を行い、資格合格率の向上、教育の質の向上を図る。

(3)研修等の計画

①推薦プログラムが対象とする職業に係る実務に関する研修等

「医事コンピュータ技能検定試験関連 第1回研修会」(主催:医療秘書教育全国協議会)  
 令和2年5月10日 対象:本科教員・非常勤講師  
 医事コンピュータ授業において、授業スキルの向上を図ると共に、検定試験合格に向けた指導力の向上を図る。

「令和2年度教員研修会」(主催:医療秘書教育全国協議会)  
 令和元年8月19日～20日 対象:本科教員  
 医療現場におけるマネジメントの手法や安全管理、今後求められる地域包括ケアのあり方を事例を通じて学ぶ。

「医事コンピュータ技能検定試験関連 第2回研修会」(主催:医療秘書教育全国協議会)  
 令和2年10月18日 対象:本科教員・非常勤講師  
 医事コンピュータ授業において、授業スキルの向上を図ると共に、検定試験合格に向けた指導力の向上を図る。

「日本医療秘書学会 第17回学術大会」(主催:一般財団法人 日本医療秘書学会)  
 令和3年2月15日・16日 対象:本科教員  
 これからの医療秘書の役割を考えを未来を創設する。

②指導力の修得・向上のための研修等

「医療秘書部会」  
 令和2年5月29日 対象:本科教員  
 資格試験合格のための対策や就職、カリキュラムについての情報交換を通じて教育力の向上を図る。

「マネジメント研修」 (主催:一般社団法人 滋慶教育科学研究所)  
 令和2年10月20日 対象:本科教員  
 マネジメントスキルを向上し、クラス運営、授業マネジメント力、チームマネジメントに活かす。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条の規定による評価を行い、その結果を公表していること。」  
 「評価を行うに当たり、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、各校に学校関係者評価委員会を設置する。学校関係者評価委員会は、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)運営方針・事業計画・システム
(3)教育活動	(3)教育目標・育成人材像・カリキュラム体系
(4)学修成果	(4)就職率・資格取得率・経済的支援
(5)学生支援	(5)就職指導・生活支援・経済的支援
(6)教育環境	(6)施設設備
(7)学生の受入れ募集	(7)募集活動・入学選考
(8)財務	(8)予算・収支計画
(9)法令等の遵守	(9)法令遵守・個人情報保護・自己点検・自己評価
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献・ボランティア
(11)国際交流	(11)国際交流・留学生

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

※推薦プログラムの教育効果等に対する学校関係者評価の活用状況を具体的に明記  
 学校関係者評価委員会において、教育活動、学生支援に関して、①地域との連携強化、②コミュニケーション能力の向上、③アクティブラーニングの実施のご意見をいただいた。①、②に関しては、昨今の学生状況を鑑み、人と関わる機会を増やすことで、学生の自己肯定感を高め、退学防止に繋がるよう、7月より各学科において、地域行事などに積極的に参加し、改善を進めた。③に関しては、4月より発足した授業力向上プロジェクトを中心に、学校全体の授業改善計画の見直しを図った。また、アクティブラーニングを中心とした「たのしい学び」を提供できるよう、前期(6月)・後期(11月)に行う授業アンケート項目にアクティブラーニングの実施状況、効果を確認する項目を増やし、たのしい授業(学び)＝わかる授業を学生に提供できるようアンケート結果を講師にフィードバックを行った。

令和2年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
森 章	拓植大学紅陵高等学校 校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	高等学校代表
橋本 敦	医療法人社団 七仁会 田園調布中央病院 事務長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	業界代表
古川 哲也	医療法人 柏葉会 柏戸病院 医事課 課長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
室岡 孝二	江戸川学校歯科医師会 理事	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
加藤 亮	医療法人社団 同愛会病院 医事課 事務長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	卒業生代表

高橋 茂夫

葛西仲町町会 副会長

令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)

地域代表

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( )

URL: <http://www.tcm.ac.jp/common/doc/info>

公表時期: 令和2年7月15日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校の教育活動の取り組みについて社会に対する説明責任を果たすとともに、公正で透明性の高い運営を推進し、教育活動の質の向上や社会全体からの信頼の獲得に資することを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	(1)学校の概要、建学の理念、運営方針
(2)各学科等の教育	(2)教育システム・各学科の概要
(3)教職員	(3)教職員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	(4)キャリア教育の取り組み・企業等との連携した授業
(5)様々な教育活動・教育環境	(5)教育行事、校舎施設
(6)学生の生活支援	(6)学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	(7)学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	(8)収支資金計算書、消費収支計算書、財産目録、貸借対照表
(9)学校評価	(9)自己点検評価・学校関係者評価委員会議事録
(10)国際連携の状況	(10)留学生支援、国際交流
(11)その他	(11)防災(職員の校内体制、避難場所)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( )

URL: <http://www.tcm.ac.jp>

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数 / 単位数		授業方法			実践的授業方法の種類				
必修	選択必修	選択					講義	演習	実験・実習・実技	企業連携	グループワーク	実務家授業	インターンシップ	
○			導入教育	自らの職業像を明確にするとともに、目標に向かって進んでいくために必要な知識、スキルを身に付ける。	15	1	○							
○			プロ養成講座	プロになるための身構え、気構え、心構えを身に付ける。	45	3		○						
○			コンピュータ	Word、Excel、PowerPointの基礎知識を学習する。	30	2		○	△					
○			医療秘書実務	医療秘書の職務と役割を理解する。また、医療保険制度の概要および診療報酬制度のシステムについて学習する。	30	2	○						○	
○			就職対策講座	就職活動に役立つ自己分析や筆記・面接試験の対策方法を学習する。	15	1	○							
○			医療法規	医療に関する各制度、法規の制度について学習する。	30	2	○						○	
○			医療法規・病院管理	医療に関する各制度、法規の制度に加え、医療機関の目的、定義等について理解を深める。	15	1	○						○	
○			診療報酬請求事務演習	診療報酬明細書を作成し、保険診療費を請求する業務を実践で学習する。	135	9		○	△				○	
○			人体構造・機能論	人体の構造および生体の機能について学習する。	45	3	○						○	
○			疾病学	病気の症状、症候、病因、病態、治療、予後について学習する。	45	3	○						○	
○			医事コンピュータ	医事コンピュータ技能検定3級・2級の合格を目標に医事コンピュータの操作方法を学習する。	105	7		○	△		△		○	
○			医療概論・医療用語	医療従事者として必要な医学用語を学習する。	15	1	○						○	
○			病院マナー	医療従事者としての接遇およびマナーを学習する。	15	1	○		△					
		○	サービス接遇検定対策	サービス接遇検定3級合格を目指す。	15	1	○							

		○	ビジネス文書検定対策	ビジネス文書検定3級合格を目指す。	15	1	○							
○			臨床実技演習	臨床現場で求められる患者対応や技術を実践的に学習する。	15	1		○						○
○			病院文書演習	報告事例を通して、文書作成の技術を学習する。	15	1		○						○
○			電子カルテ	電子カルテの概略を学びカルテ入力を実践的に行う。また、DPCの概略から実際の算定・請求まで、基礎と応用を実践的に学習する。	15	1		○						○
		○	電子カルテ演習	電子カルテ技能検定合格を目標に、電子カルテ入力を実践的に行う。	15	1		○	△					○
○			介護保険・介護レセプト	要介護に関する制度や保険給付等を定めた介護保険法、介護保険請求事務を理解し実践的に学習する。	30	2		○						○
○			D P C 演習	DPCの概略から実際の算定・請求まで、基礎と応用を実践的に学習する。	15	1		○	△					○
○			医療統計学	統計的方法による医療情報の解析を学習する。	15	1		○						○
○			事例検討	病院実習での事例を取り上げ、問題解決能力を養う。	15	1		○						○
○			実習前教育	現場実習の目的を理解し、実習に必要な身構え、気構え、心構えを学習する。	15	1		○						○
○			病院実習	現場での実務を通じて、医療事務の職務と役割を現場で再認識し、実践力を修得する。	120	4			○	○				
○			検定対策講座	医療秘書技能検定・医事コンピュータ技能検定の合格を目標に問題演習を行う。	30	2		○						○
合計授業時数/単位数					要件該当授業時数/単位数									
870時間（54単位）					720時間（44単位）									

（留意事項）

- 申請するプログラムで受講可能な全ての科目について記入すること。
- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について「○」を付し、その他の方法について「△」を付すこと。
- 一の授業科目について、企業連携、グループワーク、実務家授業、インターンシップのうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について「○」を付し、その他の方法について「△」を付すこと。
- 実践的授業方法の種別については、実施要項の3（6）の①～④の要件に該当する授業科目について○又は△を付すこと。
- 授業時数/単位数については、推薦プログラムが正規課程で時間制の場合は単位時間数、正規課程で単位制の場合は単位数、履修証明プログラムの場合は時間数を記入してください。

6 合計授業時数/単位数については、受講者が受講可能な全ての科目（必修・選択必修・自由選択を問わない）の合計単位時間数等を記入すること。

7 要件該当授業時数/単位数については、企業連携、グループワーク、実務家授業、インターンシップのいずれかに該当する科目の合計単位時間数等を記入すること。